

科 目 名
<b>教 職 演 習</b>
<b>Teacher-Training Exercises</b>

3年 前期 2単位 選択

西 本 宏 之

## 概 要

少子・高齢化社会、情報化・国際化、科学技術の進展、地球環境問題と激変する21世紀社会の中で、教育においても「21世紀を生きる人材を育てる」という新しい時代の教育の在り方が求められている。具体的には、知育、徳育、体育といった従来の教育の外に、変化する現代社会の諸問題に、より良く対処できる能力すなわち「生きる力」の育成が求められている。当然その指導にあたる教師自身がそれらの資質・能力を身に付けていなければならない。

## 目 標

「我が国の社会全体に関わるテーマについて、教員を志願する者の理解を深めその視野を広げるとともに、これら諸課題に係わる内容に関し適切に指導することができるようにする。」

これが文科省が定める総合演習の科目設定理由である。

その趣旨に則り、本講座は、地球規模での課題（人種問題、環境問題、異文化理解等）と日本社会における課題（いじめ・不登校、少子高齢化、家庭教育、福祉問題等）から1つの課題を選び、それについて、現状把握→分析→検討→整理→発表の作業を通して、個々の課題について深く理解させ視野を広げるとともに、個々の課題に関わる内容を適切に指導する実践的指導力を身に付けさせることを目的とする。

併せて教員としての資質向上をも図る。

## 授業計画

- (1) 研究グループを3班編成する。班毎に研究テーマを一つ設定する。
- (2)(3)(4)(5) 設定テーマについて実情を調査する。（文献、見学、調査等）
- (6)(7)(8) 分析→検討→整理
- (9)(10) 発表（全体討議）→(11) 再整理
- (12)(13) 教育現場での指導方法研究（指導案作成）及び模擬授業
- (14) 研究報告書作成
- (15) 定期試験

## 授業方法

- (1) 全体指導、個人研究、グループ研究、必要に応じて見学及び現地調査
- (2) グループ討議、全体討議、中間発表を適時
- (3) 学習指導案作成及び模擬授業
- (4) 研究報告書作成

## 学習到達度の評価

- (1) 各段階で全員の参加を促す（各人に作業を分担させる）
- (2) 適宜グループ討議を実施し、作業の進捗を促し、指導を充実させる。
- (3) 毎回個人レポートを提出させ、学習到達度の確認と深化を図る。

## 評価方法

参加状況及び演習態度、発表、レポート等により総合的に評価する。